

脳卒中スケール

～NIHSスケールを
みんなで勉強してみようの巻～

NIHSS

- National Institutes of Health Stroke Scale の略。
- アメリカで開発され、世界(日本でも)で最も使用されている。
- NIHSSスコアは0～42。神経サインが重くなるほど点数が高い。
- t-PA療法では、必ずスコアをつける。

t-PA開始前

t-PA投与後1時間後まで15分毎

投与後6時間までは30分毎

投与後24時間までは1時間毎

※出血リスクが高いため、異常早期発見が必要！！

NIHSSの確認事項

- 上から順番につけて、すぐに記録する。
- 患者のあるがままにつけて、推測しない。
- 患者を誘導しない。

意識レベル

- 1 a) 意識水準

呼びかけや(痛み)刺激に対する反応をみる

- 1 b) 意識障害一質問

(今月の)月と年齢を聞く

- 1 c) 意識障害一従命(従えばOK、自己で行っているのは×)

離握手と開閉眼

※挿管や抑制されていても判断できる

最良の注視

●2)最良の注視

左右の水平方向の眼球運動

0:正常

1:部分注視麻痺 左右のどちらかに寄っているが多少は動く

2:完全注視麻痺 左右のどちらかに寄っていて動かない

※共同偏視の確認(水平のみで、上下は行わない)

指で動きを追ってもらう方法

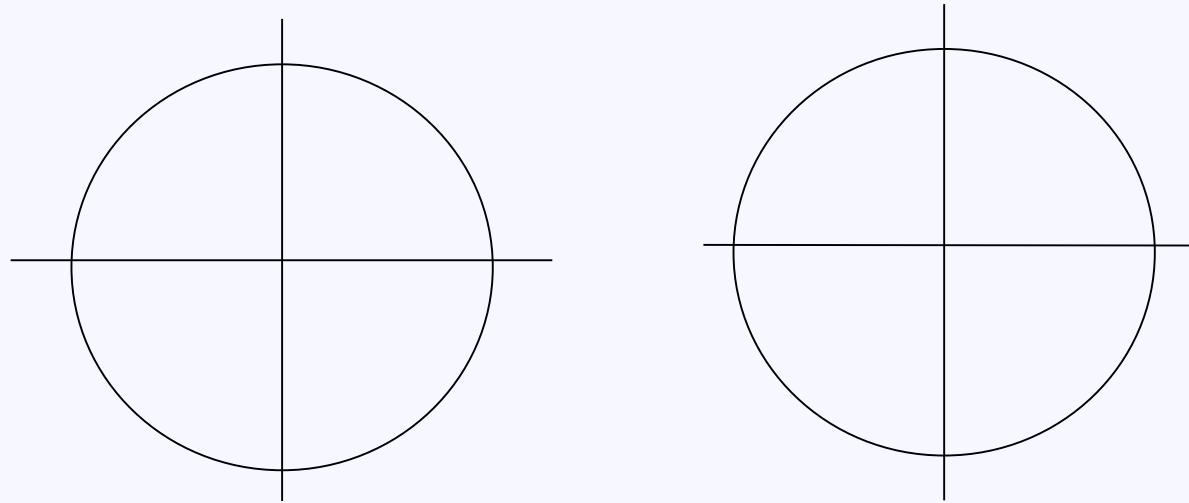
視野

●3) 視野

患者の前に座って向き合い、視野を4つに分割してそれぞれで確認する

仰臥位の際は、両手を使って行う

言えない、指させない患者は、注視などで確認する



顔面麻痺

●4) 顔面麻痺



0: 正常

1: 軽度の麻痺 鼻唇溝が浅い

2: 部分的麻痺 + 口角が動かさない

3: 完全麻痺 + 額のしわ寄せができない

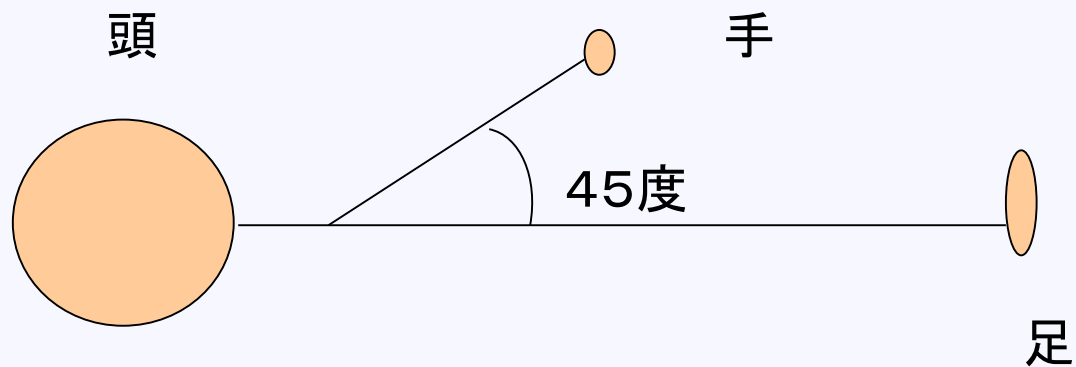
※脳卒中のほとんどの患者が2点までのことが多い

3点はベル麻痺と考えられることが多い

上肢の運動

●5) 上肢の運動

健側、病側の順に左右の上肢を検査する



※10秒数えて上肢の落ち方をみる